

ひとくちメモ

正・副議長

議長は議場の秩序を保ち、議事の運営を行うほか、議会を代表して、意見書の提出や請願の受理などを行います。また、区議会事務局の職員を指揮監督し、議会運営事務を統括します。副議長は、議長が欠けたときに、議長の代わりをつとめます。

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp
携帯サイト http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/mobile/

平成16年 第2回定例会



区立永福中央公園にて

「杉並区財政事情の公表に関する条例等の一部を改正する条例」、「住基ネット受信義務確認等の請求に関する訴訟の提起について」などを可決

平成16年第二回定例会は、6月8日から6月18日までの11日間の会期で開催されました。初日は、各特別委員会からの活動報告が行われた後、区政一般についての質問が行われました。一般質問は、10日までの3日間にわたり行われ16名の議員が質問しました。10日には、議案が上程され、関連する常任委員会に付託（報告案件は付託省略）しました。なお、人権擁護委員候補者の推薦については付託を省略し、直ちに採決を行いました。また、専決処分の報告についても採決を行いました。

11日からは、各常任・特別委員会を開き、条例案件、補正予算等の審査を行いました。最終日の18日は、各委員会に付託した議案の審査経過の報告後、第一回定例会で継続審査となっていた「住基ネット受信義務確認等の請求に関する訴訟の提起について」を含む全ての議案を原案どおり可決しました。続いて、議長、副議長の選挙が行われ、新しい正副議長を選出しました。また、追加議案の人事案件も原案どおり可決して、第二回定例会を閉会しました。

議長・副議長を選出

定例会最終日の6月18日に、正副議長から辞職願が提出されたため、辞職を許可し、選挙を行いました。

投票の結果、第64代議長に今井讓議員（杉自）、第65代副議長に西村文孝議員（公明）を選出しました。



杉並区議会議長
今井 讓



杉並区議会副議長
西村 文孝

就任にあたって

私どもは、先の6月区議会定例会において、議員多数のご推挙を受け議長、副議長に就任いたしました。

折りしも、地方分権改革が論議され、分権の時代にふさわしい、自主・自立の地域社会が求められています。

このような中、杉並区では、区民が安全・安心に暮らせるまちづくりを進めるとともに、元気と活力のある地域社会を

再生し、子供たちに夢や希望の持てる杉並区の実現に向けて、各種施策を講じております。

また、今年は「杉並区21世紀ビジョン」を具体化し実現するための基本計画・実施計画を定めるスマートすぎなみ計画の見直し改定が予定されております。

さらに「教育改革アクションプラン」の推進、また区立

議 会 日 誌	議 案
5月	12日 清掃・リサイクル対策特別委員会
	13日 都市環境委員会
	18日 文教委員会
	24日 道路交通対策特別委員会
6月	25日 都市環境委員会
	1日 議会運営委員会
	7日 議会運営委員会
	8日、10日 第二回定例会本会 議
	10日 議会運営委員会
	11日 区民生活委員会
	14日 都市環境委員会
	14日 保健福祉委員会
	15日 文教委員会
	15日 総務財政委員会
	16日 地方自治・分権調査特別委員会
	17日 道路交通対策特別委員会
	17日 清掃・リサイクル対策特別委員会
	17日 医療問題調査特別委員会
	18日 議会運営委員会
	18日 第二回定例会本会 議
7月	各常任委員会
	議会運営委員会
	各特別委員会
16日	区民生活委員会
	都市環境委員会
22日	文教委員会
26日	保健福祉委員会
27日	総務財政委員会
28日	道路交通対策特別委員会
	清掃・リサイクル対策特別委員会

一般質問

6月8日から10日にかけて、16名の議員が区政一般について質問しました。その一部要旨をお知らせします。

山田区政における

「杉並改革第二弾」を問う

問 基本計画の改定にあたっては、地方の自立と強化や住民の参画と協働、安全・安心の視点が欠かせないと考えますが、どのような視点が求められているのでしょうか。

答 今後の時代動向や、新たな区民ニーズを十分に踏まえ、将来にわたって地域の元気・活力を育むものでなくてはならない。

問 「スマートすぎなみ計画」の改定は、財政健全化のみでなく、「経営改革」という視点に立つて行うべきと考えるが如何か。

答 財政健全化に加えて、

問 協働や参画などの視点により一層重きを置き、自治体経営の改革を実施するための行財政改革大綱と位置付けて改定を進めてまいりたい。

答 杉並区が独自に目指す教育の姿を区民に示し、区民とともに教育改革に取り組むべき時と考える。教育立区に向けた基本的な考えを伺う。

問 教育目標、教育アクションプランを策定し教育改革に取り組んできた。今後、教育改革の基本戦略を策定し、德育にも力を入れてまいりたい。

答 整理員は、自転車の放

特養ホームの待機者解消は、待ったなしの課題

ではないか。

問 特養ホームへの入所の必要性が高く、早期入所を希望する、いわゆるAランクの待機者数と全員早期に入所できる具体的な計画案を明確に示していただきたい。

答 16年3月末で575人。今後の整備計画については、実施計画改定の中で検討しており、8月に公表予定。

問 東京都児童福祉審議会が、認可保育所に対する都加算補助の見直しを検討するよう求めている。保育水準の低下をまねく見直しを東京都が具体化しないように、働きかけていくべきではないか。

答 今後不安を感じている方々に対しては説明を行い、相互通行後の周辺の交通状況を把握した上で、必要な対策を講じてまいりたい。

問 地球温暖化問題にもう一步踏み込み真正面から取り組む姿勢、区民と一体となって世界に名譽ある京都の冠をつけた環境指針を達成しようというメッセージを強力に発信すべきではないか。

答 環境先進都市を目指す活動の一つとして、メッセージの発信や環境博覧会を開催している。今後、地方自治体として最大限、環境に関する情報発信をしてまいりたい。

問 区民一人一人に緑被率に関心を持ってもらうために個々の敷地の実態調査に着手すべきと思うが、如何

答 プライバシーや個人情報との関係もあるので、調査が可能かどうか検討してみたい。

問 一般区民の住宅とあわせて、区役所本庁舎を手始めに区有施設にも太陽光発電に限らず、風力発電など順次設置していくことを考えるべきではないか。

答 「あんさんぶる荻窪」には、啓発の目的を兼ねて太陽光発電と風力発電設備を設けている。今後、設置にかかる費用と環境に対する啓発効果等を勘案しながら、引き続き対応してまいりたい。

地球温暖化は、子ども達の将来の生活環境にかかわる問題

か。

問 学校と警察との相互連絡制度の協定は、非行・問題行動の未然防止などを理

答 今後、警察と協議する。協定の締結を中止する考えはない。

問 警察大学校等跡地利用について、杉並、中野、都知事の三者協定が生きている。この中で中央防災公園4ha・清掃施設2haの利用計画がある。

問 中野区は一方的に民間売却で超高層ビル群を作る計画である。合意を守り、防災公園とするよう中野区に求めよ。

答 中野区と十分協議した

心のバリアフリーを目指した

トーチランに全面的な支援を

問 スペシャルオリンピックスについての認識は如何か。障害のある人との交流による心のバリアフリーを目指し、幅広いボランティア参加を第一に考えて行われるトーチランをバックアップすべきでは。

答 知的障害者ヘススポーツに親しむ機会を提供し、自立を促し社会参加につながる事業として重要であると認識している。トーチランについても全面的に支援していく。

問 農山漁村などに滞在し、地元の人との交流を楽しむ旅である「グリーン・ツーリズム」への区民ニーズは

答 介護事業者への情報提供などにより普及を図るとともに、研究をしてまいりたい。

問 税金の使い道についてはデータになっているのであるから、後はきちんと区民に公開するかどうかである。どの程度まで公開する予定なのか。

答 施策の現状や財政運営の状況などを広報やホームページ等でお知らせしている。

学校図書館の充実を

を伺う。

問 各小学校の図書館の現状や運営・環境・整備には大きな差がある。すべての子どもたちが一定水準の図書館を利用できるようにすることが大切なのではないか。

答 各学校が、保護者や地域の方々の協力も得ながら、図書館運営を一層充実させていくことが重要であり、一定水準の確保は公教育の使命と認識している。

問 学校図書館IT化による蔵書管理・貸し出し業務の効率化や区立図書館とのネットワーク化の取り組み

答 児童虐待防止対策として、戸別訪問のために保健師の配置が求められている。人員体制の強化や相談時間の延長などを、NPOや民間への委託を含めて検討すべきでは。

問 保健師の配置を含め、職員体制の検討が必要。委託については、相談者の心情やプライバシー保護に十分配慮する必要がある。

問 子どもの権利を擁護するシステムとして、公正・中立な立場である「子どもに特化したオンブズマン」を設置することが有効ではないか。

答 学校図書館が、「資料・情報センター」「学習センター」「読書センター」としての機能を十分果たせるよう、段階的・計画的に整備充実していきたい。

問 学校図書館には専任の司書の配置が望ましい。全校配置が無理なら、数校に一人の専任司書を配置し、図書購入計画や運営指導をできるようにしてはどうか。

答 図書業務に精通した人が必要であるとの認識から、地域の力の活用を図ってまいりたいと考えている。

子ども・子育て支援策の充実と権利擁護のしくみづくりを

を伺う。

杉並区行政は、区民が主役になっているのか

を伺う。

問 18年度からは予算書の内容や説明資料などについてもお知らせできるように努めていく。

問 用途地域や道路計画などのまちづくりは、一般区民にはわかりにくい。該当する地区の人達に対して、具体的に現実的な説明を行うことはできないのか。

答 広報や住民説明会などで周知に努めてきた。今後は、特に関りのある住民等に対しては、各戸配布などできる限りキメ細かな対応をしてまいりたい。

問 公会堂PFI事業では、来年から9億円の負担が始まる。区民に対して内訳や建築費、運営費分の積算を公開するべきと思うが如何か。

答 区のサービス購入料の内訳などについて、できるだけわかり易く区民にお知らせするように努めてまいりたい。

南北バス(すぎ丸)は、赤字であり、黒字ではない

ではないか。

問 南北バス(すぎ丸)が、3万円の黒字になったと発表されたが、疑問だ。この収支報告には、どこまでの維持管理が入っているのか。

答 自動車税、重量税、自賠責保険に係る経費、土地の賃貸借料などは、経費に含めていない。

問 バス開通にあたって、他の井の頭線沿線の駅に比べ、多くの整理員が配備された経緯がある。このような経費は、収支に含めていないのか。

答 整理員は、自転車の放

子どもたちの行動を「密告する制度」は中止を

を伺う。

問 学校と警察との相互連絡制度の協定は、非行・問題行動の未然防止などを理

答 今後、警察と協議する。協定の締結を中止する考えはない。

問 警察大学校等跡地利用について、杉並、中野、都知事の三者協定が生きている。この中で中央防災公園4ha・清掃施設2haの利用計画がある。

問 中野区は一方的に民間売却で超高層ビル群を作る計画である。合意を守り、防災公園とするよう中野区に求めよ。

答 中野区と十分協議した



声・点字の区議会だより

本紙を録音した「声の区議会だより」または点字版「区議会だより」をご希望の方に郵送でお届けしています。区内在住の視覚障害一、二級の方と特に希望される方が対象ですので、お知り合いの方へお知らせください。(お申し込みは区議会事務局へ)

文化政策には、自治体の力量の差が出てくる

問 文化芸術の振興はまさに区民に元気活力、そして夢を与えてくれるものと考えられる。杉並区における文化芸術振興に対する所見を伺う。

答 地域の文化や歴史、伝統を掘り起こし、教育や福祉、産業に形を変えていくことが、オンラインワンの地域になっていく道筋と考えている。

問 区内在住の文化芸術関係の人材・団体を登録する人材バンクを設置し、区民が芸術に触れる機会の創造に役立てられればと考える。アーティストバンクの創設について伺う。

答 商店街の自助努力とともに、地域の力もお借りしながら、適切な支援を行っていく必要があると考えている。

問 「レジ袋を使わないように」と呼びかけておきながら、なぜレジ袋のごみ出しを許すのか。「ごみ出し」に規制をかけていくべきではないか。

答 不燃ごみのレジ袋を調べると、32・3%がごみ袋として使われ、67・7%はごみとなつている。規制を検討する前に、まずレジ袋をもらわないことを呼びかけていく。

問 サーマルリサイクルできるレジ袋について、なぜ削減運動を強いられ、税金の導入まで区民はつき合わされなくてはならないか。

答 全てのごみは燃やさずに資源として循環再利用する社会を目指していきたいが、当面は焼却による減量・中間処理は欠かせない。

自治体の戦争協力に反対を

問 有事関連法は自主防災組織を戦争用の防災組織に変え、戦争防災訓練が自治体の仕事になると危惧されないか。

答 自主防災組織の役割などは、都の保護計画の策定等に合わせた、区の計画の中で定めていくものと考えている。

問 介護保険制度と障害者施策との一体化は、サービスマン提供や自己負担の問題があるのでは、反対すべきではないか。

答 調整すべき課題が少なくないと認識しており、国民の理解を得るための十分な議論が必要と考えている。

問 都革新は、都教育委員会の「君が代処分」は憲法違反であると考えている。区の見解は。

問 歴史をどのように教えるかによって、その子の生き方、人生に大きな影響を与える。歴史教育は大変重要であるが区の見解はどうか。

問 歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てる上で、大変重要である。学校における歴史教育は、学習指導要領にしたがって、適切にすすめていくべきものと考えている。

問 イギリスでは、教育改革による学力上昇に伴い、経済面におけるイギリス病も克服する結果になった。わが国は、イギリスの教育

問 放射5号線計画は、岩通ガーデン雑木林の70%を消失。玉川上水には30種を超える野鳥がいるが、いなくなれば自然循環破壊となる。ホタル祭りは可能とした評価書は、現実無視。計画は歴史・文化・自然を破壊するもの。区は住民の意見をしっかりと守れ。

問 設置される協議会では住民の意見が生きるよう努力を。

問 不適切な指導等を対象として、法律に基づいて行われたものと考えている。

問 要綱を受け入れがたいとする建築主の姿勢は遺憾。PCB等の調査は解体工事と別。

問 日本共産党は井の頭線のバリアフリー化を調査し

問 重度身体障害者のグループホーム設置を進めるため、都の「緊急整備費補助」についての現状を伺う。杉並区にも設置を推進していくべきと考えるがどうか。

問 用地取得や施設整備に際して、特別な助成が認められている。区としても、地域生活支援策の充実について、基本計画・実施計画改定の中で具体化を図ってまいりたい。

問 DV問題には、身近な地域での早期発見、気づきのシステムづくりが大切である。地域特性を生かした協力体制の構築をどのように

問 東京都は地域生活移行支援策を発表した。低額で住居提供の趣旨は評価できる。だが、対象者を公園のブルーテント居住者に限定し、新規流入を阻止するなど、結局、公園からの排除が主目的と見える。他にも疑問が多いが、区の見解はどうか。

問 事業の目的は路上生活者の自立促進、公園本来の機能回復にあり、その必要性については都区間で合意されている。

問 富士見ヶ丘葬儀場建設事業者の調査と称した内部解体などは、住民無視の許せない行為であり、自治基本条例にも反する。住民の立場に立った強い指導を求

める。

障害者施策と配偶者からの暴力等の問題(DV)を問う

問 民生児童委員との連携強化が必要。女性に対する暴力問題対策連絡会などの組織を活用し、対応していく。

問 配偶者暴力相談支援センターについて、より身近な窓口でキメ細かく対応するために区市町村への設置が可能となるように改正された。本区での取り組みを伺う。

問 一時保護など広域的な対応も必要であり、都全体の取り組みを強める方向で今後、研究していく課題である。

問 東京都は地域生活移行支援策を発表した。低額で住居提供の趣旨は評価できる。だが、対象者を公園のブルーテント居住者に限定し、新規流入を阻止するなど、結局、公園からの排除が主目的と見える。他にも疑問が多いが、区の見解はどうか。

問 事業の目的は路上生活者の自立促進、公園本来の機能回復にあり、その必要性については都区間で合意されている。

問 現在、早期着手と円滑な運営に向け、都と23区で協議しているところである。

問 住基カードの発行枚数を。

永年在職議員を表彰

定例会最終日の6月18日の本会議で、永年在職議員5名の表彰がありました。7期在職25年、その永年の区政に対する功績をたたえ区議会が表彰したものです。



西村文孝議員

昭和54年4月初当選。副議長、監査委員、建設委員会委員長などを歴任。

小泉やすお議員



小泉やすお議員

昭和54年4月初当選。副議長、文教委委員長などを歴任。

曾山繁議員



曾山繁議員

昭和54年4月初当選。議長、監査委員、総務財政委員会委員長などを歴任。



太田哲二議員

昭和50年4月初当選。副議長、監査委員、厚生委員会委員長などを歴任。

陳情

6月18日の本会議で、審査を終えた陳情を次のとおり決定しました。

不採択されたもの

「杉並区防犯力カメラの設置及び利用に関する条例」採択に関する陳情(16陳情第19号)

取り下げ承認

杉並区在住の私立小中学校就学者への教育費助成実現に関する陳情(15陳情第53号) 安定した公的年金制度の確立等に関する陳情(16陳情第10号)

未臨界核実験に抗議し、要請書を提出

杉並区議会は、アメリカ合衆国が5月26日に実施した未臨界核実験の強行に抗議し、実験計画の即時撤回を求める要請書を5月26日付で、アメリカ合衆国大統領へ提出しました。

区議会を傍聴しましょう

区議会の本会議や委員会は、定員の範囲以内でどなたでも傍聴できます。また、車いすでの傍聴や手話通訳による傍聴もできます。傍聴をご希望の方は、希望日当日、区役所中棟3階の区議会事務局でお申し込みください(手話通訳をご希望の方は、希望日の四日前までにお申し出ください)。第三回定例会は、9月14日(火)開会予定です。(お問い合わせは、9月8日以降に区議会事務局へ)

審議した議案の概要

条例改正

財政事情の公表に関する条例等の一部改正

区が定める最高規格である自治基本条例の趣旨との整合性を図るため、「財政事情の公表に関する条例」、「職員定数条例」、「組織条例」の三件の条例を改正する。

(16年6月21日施行)

印鑑条例の一部改正

印鑑登録に伴う本人確認をより厳格に行う等のため改正する。

(16年7月15日施行)

区立地域区民センター及び区民集会所条例の一部改正

荻窪地域区民センターの展示室の使用料を定める等のため改正する。

(16年7月1日施行)

特別区税条例の一部改正

地方税法の一部改正により生計同一の妻の均等割の非課税措置及び老年者控除を廃止し、並びに土地又は建物等の譲渡所得に係る税率を引き下げる等のため改正する。

(老年者控除の廃止に関する規定は、17年1月1日施行)

その他の規定については、16年6月21日施行

プールの衛生管理等に関する条例の一部改正

プールの水質に起因する疾病の発生防止策の一層の推進を図る等のため改正する。

(16年6月25日施行)

区立自転車駐車場条例の一部改正

新たに「荻窪西第二自転車駐車場」(上荻1-21-25)を設置する等のため改正する。

(16年9月1日施行)

区立公園条例の一部改正

今秋に完成予定の「柏かし」の宮公園の茶室の使用料を定める等のため改正する。

(16年11月1日施行)

契約

個別外部監査契約

保育事業の個別外部監査の実施にあたり、外部監査人として公認会計士・新沢 忠(にいざわ ただし)氏と契約する。契約金額は、三百五十万円(支払限度額)

仮称方南図書館併設仮称方南保育園建築工事(場所〃方南1-51、工期〃17年7月29日まで)

図書館サービスの充実を図り、方南地域における保育待機児の解消を図るため建築する。延床面積一千七百七十八・六二㎡、契約金額二億二千九百四十二万五千円。契約の相手方は株式会社大塚工務店。

デジタル地域防災無線設備設置工事(第二期)(場所〃杉並第一小学校外67か所、工期〃16年11月30日まで)

災害時に地域の状況を把握し、適切な情報を提供することにより、区民の安全を確保するため設置する。契約金額一億七千二百二十万円。契約の相手方は日本コムシス株式会社杉並営業所。

都市計画道路補助第三百三十一号線街路築造工事(第二工区)(場所〃荻窪5丁目31番)30番先、工期〃契約締結日の翌日から三百日間)

車道幅員を拡幅し、南北に段差をつけた歩道を設置する等のため工事を行う。契約金額一億五千二百二十万八千円。契約の相手方は、山内・早房建設共同企業体。

南北バス交通用CNG改造小型バス二台の買入れ

南北バス・浜田山・下高井戸線に必要な小型バスを買入れる。契約金額四千九百七十四万九千円。契約の相手方は、東京日野自動車株式会社板橋支店。

16年度一般会計補正予算(第一号)

三億二千五百六十三万三千円の追加。予算総額一千四百億八千五百六十三万三千円。

15年度繰越明許費繰越計算書

16年度に二億四千八百万円を繰り越す。

人権擁護委員候補者の推薦

次の方を委員として推薦することに同意する。

高石 昌子(たかいしまさこ)氏 成田東1-24-8 松本 徹子(まつもとてつこ)氏 荻窪2-28-5

住基ネット受信義務確認等の請求に関する訴訟の提起

いわゆる横浜方式による住基ネット参加を拒否されている事態を早期に解決するため、都及び国に対して損害賠償金の支払を求める訴訟を提起する。

個別外部監査契約に基づく監査

保育事業の効率性等を検証するため、個別外部監査を実施する。

専決処分報告及び承認

地方税法の一部改正による特別区民税の均等割及び所得割の非課税限度額の引き下げについて、16年4月1日に施行した特別区税条例の一部改正の報告を承認する。

予算

15年度は、一千九百三十八・八七㎡の土地を取得し、六百七・六一㎡を処分した

16年度は、三千六百二十七㎡の土地取得を計画している。

2 勤労者福祉協会

15年度は、一般勤労者を対象に教養講座等を行い、会員を対象に情報提供事業、給付金の支給等を実施した。16年度は利用手続きの簡素化など事業の大幅な見直しを行う。

3 スポーツ振興財団

15年度は、各種スポーツ教室の実施、イベントの開催、体育施設の管理等を行った。16年度は、民間業者と共催で実施する「ゴルフ体験教室」等を予定している。

4 障害者雇用支援事業団

15年度は、就労機会の開拓・提供、雇用主や家庭と連携した職場定着指導等を行った。16年度は、新たにジョブコーチ養成講座等の実施を予定している。

5 下井草駅整備株式会社

16年3月25日設立。16年度は、駅舎橋上化等整備の調査設計を西武鉄道株式会社に委託する。

新しい委員会の構成が決まりました

6月18日、本会議で議長が各委員会の委員を指名し、各委員会で正・副委員長を互選しました。

委員会名(定数)	委員長 副委員長	委員
常任委員会		
総務財政委員会(10人)	斉藤常男 青木さちえ	河津利恵子・藤本なおや・くすやま美紀・佐々木浩・横山えみ・門脇文良・木梨もりよし・河野庄次郎
区民生活委員会(9人)	藤原一男 岩田いくま	小松久子・渡辺富士雄・吉田 武・富本 卓・梅田ひさえ・山崎一彦・伊田としゆき
保健福祉委員会(10人)	小倉順子 押村てい子	けしば誠一・田中朝子・小野清人・原田あきら・井口かづ子・本橋文将・太田哲二・西村文孝
都市環境委員会(9人)	小川宗次郎 はなし俊郎	堀部やすし・とがしきなおみ・関 昌央・松浦芳子・原口昭人・渡辺重明・小泉やすお
文教委員会(10人)	曾山 繁 山田なおこ	新城せつこ・奥山たえこ・島田敏光・田代さとし・大泉時男・鈴木信男・宮原良人・今井 譲
議会運営委員会		
議会運営委員会(12人)	富本 卓 渡辺重明	河津利恵子・藤本なおや・佐々木浩・青木さちえ・原口昭人・鈴木信男・門脇文良・太田哲二・河野庄次郎・曾山 繁
特別委員会		
地方自治・分権調査特別委員会(12人)	くすやま美紀 藤本なおや	堀部やすし・奥山たえこ・とがしきなおみ・山田なおこ・吉田 武・藤原一男・青木さちえ・門脇文良・斉藤常男・小泉やすお
道路交通対策特別委員会(12人)	横山えみ 小松久子	けしば誠一・原田あきら・渡辺富士雄・小倉順子・佐々木浩・井口かづ子・梅田ひさえ・押村てい子・太田哲二・河野庄次郎
清掃・リサイクル対策特別委員会(12人)	松浦芳子 宮原良人	新城せつこ・河津利恵子・田代さとし・富本 卓・原口昭人・鈴木信男・木梨もりよし・西村文孝・伊田としゆき・曾山 繁
医療問題調査特別委員会(12人)	本橋文将 田中朝子	小野清人・関 昌央・岩田いくま・島田敏光・はなし俊郎・小川宗次郎・大泉時男・山崎一彦・渡辺重明・今井 譲

議案名	杉目	公明	共産	自無	民主	生新	革新	社緑	自民	無	杉ル	結果
人権擁護委員候補者の推薦について()												可決
地方自治法第七十九条第一項の規定に基づき専決処分した杉並区特別区税条例の一部を改正する条例の報告及び承認について()			×				×					承認
地方自治法第七十九条第一項の規定に基づき専決処分した損害賠償額の決定の報告及び承認について()												承認
杉並区議会永年在職議員表彰に関する建議()	欠2	欠1		欠2								可決
住基ネット受信義務確認等の請求に関する訴訟の提起について	欠1	欠	×				×	×			欠	可決
杉並区財政事情の公表に関する条例等の一部を改正する条例												可決
個別外部監査契約に基づく監査について			×				×					可決
個別外部監査契約の締結について			×				×					可決
仮称方南図書館併設仮称方南保育園建築工事の請負契約の締結について											×	可決
デジタル地域防災無線設備設置工事(第二期)の請負契約の締結について							×					可決
都市計画道路補助第三百三十一号線街路築造工事(第二工区)の請負契約の締結について												可決
平成十六年度杉並区一般会計補正予算(第一号)							×					可決
杉並区南北バス交通用CNG改造小型バス二台の買入れについて												可決
杉並区印鑑条例の一部を改正する条例												可決
杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例の一部を改正する条例			×				×					可決
杉並区特別区税条例の一部を改正する条例			×				×	×				可決
杉並区プールの衛生管理等に関する条例の一部を改正する条例												可決
杉並区立自転車駐車場条例の一部を改正する条例												可決
杉並区立公園条例の一部を改正する条例			×				×					可決
杉並区体育施設等に関する条例の一部を改正する条例			×				×					可決
常任委員会委員の指名について												可決
特別委員会委員の選任替えについて												可決
議会運営委員会委員の指名について							×				×	可決
杉並区監査委員(識見を有する者)の選任の同意について(向山 清志氏)							×					同意
杉並区監査委員(議員)の選任の同意について(梅田ひさえ議員)	欠1		×	欠1			×					同意
杉並区監査委員(議員)の選任の同意について(木梨もりよし議員)			×	欠1			×					同意
農業委員会委員(選任による)候補者の推薦について(井口かづ子議員)												推薦

会派名・構成人数
 杉自/杉並自民議員連盟(13人)・公明/杉並区議会公明党(8人)・共産/日本共産党杉並区議団(6人)
 自無/杉並自由無所属区議団(6人)・民主/民主党杉並区議団(4人)・生新/杉並・生活者ネットワーク区議団(3人)
 革新/都政を革新する会(2人)・社緑/社会民主党・緑の人々(2人)・自民/自由民主党杉並区議団(2人)
 無/無所属(1人)・杉ル/杉並ルネッサンス(1人)

お知らせ

情報公開推進委員(7月1日現在)
 会長 西村 文孝
 職務代理 富本 卓
 委員 渡辺 重明
 佐々木 浩
 鈴木 信男
 門脇 文良
 河津 利恵子

会派変更
 関 昌央議員の所属会派が杉並区議会自由民主党杉並区議団(自民)へ変更になりました。

住所変更
 岩田いくま議員(自無)
 久我山5-24-30
 フルーツキ1103